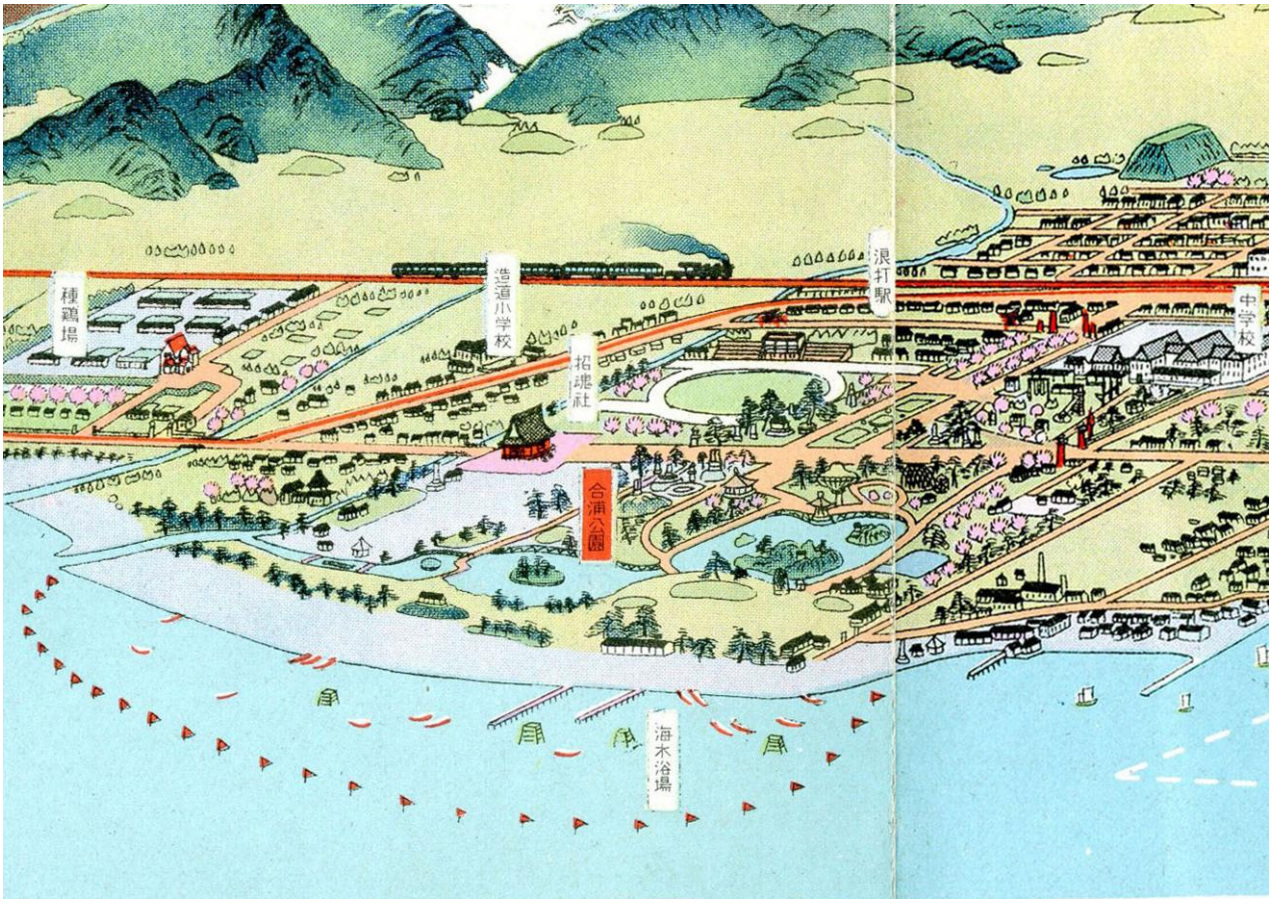
Ｎｏ．６３４【２０２５年１月１０日配信】

館内展示「青森市内石碑めぐり３」（担当：村上亜弥）

こんにちは。歴史資料室の村上です。今年もメールマガジン「あおもり歴史トリビア」をよろしくお願いいたします。

さて、１月９日（木曜日）から歴史資料室の新しい館内展示「青森市内石碑めぐり 3」が始まりました。この展示は一昨年の「青森市内石碑めぐり」、昨年の「青森市内石碑めぐり 2」に続くものです。

市民図書館７階のガラスケースには昭和７年（1932）に発行された「青森市鳥瞰図」（制作：吉田初三郎）を展示しています。大正から昭和にかけて活躍した鳥瞰図作家・吉田初三郎は地形に極端なデフォルメを施す一方、桜の名所に桜、温泉地に湯煙を描くなど、細部にこだわって鳥瞰図を制作しました。「青森市鳥瞰図」をよく見ると、合浦公園内には桜や松のほか複数の石碑が描かれています。そこで、鳥瞰図と現在の合浦公園の石碑配置図を比較し、「青森県殉難警察官忠魂碑」や「篠原善次郎翁胸像」など鳥瞰図に描かれた石碑を取り上げました。



多くの石碑が描かれている「青森市鳥瞰図」

あわせて、歴史資料室が所蔵する合浦公園の絵はがきの中から、石碑が写っているものを展示しました。例えば、合浦公園の名物として市民に親しまれていた「相生の松」の絵はがきには「故青森県令正五位山田秀典君碑」が写っています。「相生の松」は大正 10 年（1921）に暴風の影響により折れてしまったため、現在は松と石碑が並ぶ光景を見ることはできません。ぜひ絵はがきで戦前の合浦公園の姿をご覧いただければと思います。



相生の松

また、8 階のパネル展示では、行方不明の石碑、松尾芭蕉生誕 380 年、市町村合併に関する石碑、著名人が見た石碑、県外にある青森市ゆかりの石碑という 5 つのテーマで石碑をご紹介しています。

市町村合併に関する石碑の展示は、昭和 30 年に青森市が周辺の 1 町 8 村と合併してから今年で 70 年となることを受けて企画したものです。油川町（昭和 14 年 6 月合併）、大野村（昭和 29 年 5 月合併）、高田村（昭和 30 年 1 月合併）、新城村（昭和 30 年 3 月合併）の記念碑を取り上げています。

館内展示「青森市内石碑めぐり 3」は 4 月 8 日（火曜日）まで行います。市民図書館へお越しの際はぜひお立ち寄りください。

そして、もう一つお知らせがあります。青森県近代文学館で開催中の企画展「あおもりの校歌」に歴史資料室が所蔵する青森県師範学校、佃小学校、旧野沢小学校、沖館中学校の校歌に関する資料が展示されています。こちらの展示は 3 月 23 日（日曜日）まで行われます。詳細については青森県近代文学館ホームページをご確認ください。